



オ ゴールデンスコアについては、規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」差が2ない場合、その試合はゴールデンスコアに突入する。ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、ゴールデンスコアは直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。

カ 抑え込みのスコアは、「技有：10秒以上20秒未満」「一本：20秒」とする。

(2) 次の場合は、ゴールデンスコア方式により、勝敗を決める。

同時「一本」、累積による両者「反則負け」

(3) 柔道衣コントロール

ア 現行の(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。ただし、2025年度までは移行期間とし、日本中体連柔道競技部からの通知に従う。【資料⑦ P17~P20】

イ 開会式終了後、審判団により実施する。

ウ 女子は上衣の下に、白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツかレオタードを着用する。Tシャツのマーキングについては、現行の(公財)全日本柔道連盟が定める規定に準ずる。計量の時に確認する。【資料⑦ P17~P20】

エ 女子の黒帯で、白線入りは認めない。

(4) その他申し合わせ

**ア 準々決勝・準決勝・決勝は、各試合審判団で3人の審判員と1人の審判委員を決めて進める。準々決勝より前の試合については、審判委員をつけない。**

イ 医師と整復師の先生で、救護係を行う。

ウ 各試合場、審判割に従い、準決勝戦まで行う。(3位決定戦は行わない。)

エ 審判割で●印は、審判委員の役割をします。審判委員は必要な時、試合を中断して審判員に確認をし、審判員から意見を求められた場合助言をする。

オ 同所属の試合は審判団から外れる。

カ 直接または、累積の「反則負け」及び、延長戦での勝敗が決まる「指導」では、原則、合議する。

キ 技の判定が2段階以上の差がある場合(「一本」と「ノースコア」)は、原則、合議する。

ク 審判員は、試合の始めと終わりの開始線での「礼」を厳しくコントロールする。

ケ 監督の服装は、審判員に準ずるものを原則とする。

コ 試合が連続する場合は3分間の休憩時間を設ける。

サ 審判に対して、監督・コーチからの抗議は認めない。

シ 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を適用する。【資料② P8】

ス 「脳震盪対応について」を適用する。【資料③ P9】

6. 新ルール of 国際柔道連盟試合審判規定((2022~2024)及び国内における「少年大会特別規程」(2022.1.24 改正)において、特に次の点に留意する。【資料⑥ P15】

(1) 2022年4月1日より施行の国際柔道連盟試合審判規定(新ルール)においての新たな改正項目

- ① 技が中断せずに継続した場合はスコア。中断した場合はノースコアとする。
- ② 体側全体が90度以上背中側が接地した場合は「技有」とする。(この場合、肘が外側に出ている場合でもスコアを与える。)
- ③ 片方の肩、および背中上部が接地した場合は「技有」とする。
- ④ 受けが同時に両手または両肘を着いた場合、「取」に「技有」のスコアが入り、「受」に指導が与えられる。
- ⑤ 通称「めくり」はノースコアである。
- ⑥ 逆背負投はノースコアとなり、「指導」が与えられる。
- ⑦ 技の最後の動作で、帯より下に触れることを認める。(投げた場合はスコアとなる) 技が中断した場合に帯より下を掴んだ場合は寝技とみなす。(スコアやペナルティは与えない)
- ⑧ ポジティブな展開であれば(投げるための技を仕掛けている場合)、「奥襟」と「襟」を認める。
- ⑨ 帯・片襟・クロスグリップ・ピストルグリップ・ポケットグリップは、すべて標準的な組み方ではない。標準的な組み方でない場合でも、攻撃につながる準備には時間の猶予を与える。  
※攻撃動作がなく持ち続けられれば、従来通り「指導」が与えられる。
- ⑩ 相手の組手を片手もしくは両手で切り、直ちに組手を持ち直してポジティブな展開であれば「指導」ではない。ただし、組手を切った後に、直ちに持ち直さない場合は「指導」が与えられる。
- ⑪ 「柔道衣の直し」および「髪直し」は2回目から「指導」が与えられる。  
※1回目はジェスチャーのみを行い、カウントする。
- ⑫ **ヘッドダイブは危険な行為のため「反則負け」となる。今までのルールとかわらないが、より厳格に判断する。**

(2) 2023年6月1日より施行の国際柔道連盟試合審判規定の解釈変更に伴う国内大会の適用について【資料⑨ P24】

- ① 技ありの判断基準について  
技ありの基準は、**肩の軸に対して体側上部が90度かそれ以上後ろ側に倒れている場合、もしくは片方の肩と背部上部が接触した場合とする。**
- ② 体側上部は、**肩のポジションのみ**をみる

(2) 以下の場合については、「反則負け」の罰則が与えられる。

ア 柔道精神に反する行為をした場合には、直ちに「反則負け」が与えられる。

イ 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めた場合には、「反則負け」が与えられる。

ウ 故意に相手の足を踏みつけて技を仕掛ける及び故意に相手の頭髪を掴んで技を仕掛ける行為をした場合には、「反則負け」が与えられる。【資料④ P10~12】

(2) 以下の場合については、「指導」の罰則が与えられる。

ア 関節技及び締技を用いた場合には「指導」が与えられる。【資料① P6, 7】

イ 主審が「待て」を掛けても、乱れた柔道衣を直そうとせず、放置し乱れたまま「始め」を待っている時に、主審より柔道衣を直すよう指示された場合、これを1回目とカウントし、2回目以降はその都度「指導」が与えられる。【資料⑤ P13, 14】

ウ 攻防に関係の無い行為で、相手の柔道衣を乱す行為をした場合には「指導」が与えられる。【資料④ P10~12】

エ 標準的でない組み方の場合、直ちに攻撃しなければ「指導」が与えられる。

- オ ベアハグ（投げるために相手に抱きつく行為）を行う場合は、攻撃する選手が少なくとも片方の組み手を持っていなければならない。組手のない状態において両手で相手に抱き着く行為には「指導」が与えられる。（柔道衣に触れただけでは組んでいるとはみなさない。しっかり柔道衣を握っていること。）
- カ 相手の袖の中に指を入れる行為は、今まで通り「指導」が与えられる。
- キ 攻撃をしようとしないう防御姿勢など柔道精神に反する消極的な行為に対しては厳しく「指導」が与えられる。
- ク 投技を準備するのに時間がかかることもあるため、組んでから攻撃を掛けるまでの時間を45秒に延長し、それまでに技がない場合には「指導」が与えられる。
- ケ 立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部又は帯を握り続ける行為には「指導」が与えられる。
- コ 両膝を最初から畳について背負投等を施す行為には「指導」が与えられる。
- サ 無理な巻き込み技を施す行為には「指導」が与えられる。
- シ 相手の頸を抱えて大外刈、払腰を施す行為には「指導」が与えられる。
- ス 脚を掴む行為や下穿きを握る行為については「指導」が与えられる。
- セ 「逆背負投」（通称）の様な技を施した場合には、「指導」が与えられる。
- ソ 両袖を持って技を施した場合には、「指導」が与えられる。【資料① P 6, 7】

### (3) その他について

- ア 変則の組手〔クロスグリップ、片襟、帯を握る行為、ピストルグリップ、ポケットグリップ等〕は、直ちに攻撃しなければ「指導」が与えられる。
- イ 寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは「待て」とする。

### (4) 確認事項

#### ア 肩三角グリップ

※早い段階でとめる。相手の脊椎を痛めようと故意に攻撃した印象を審判員が持った場合のみ、「反則負け」を与える。

- ① 寝技の場合は、肩三角グリップをおこなってもよい。
- ② 寝技において、脚でブロック（相手を固定）し、肩三角ブロックを施すことは、脊椎の安全のため禁止とする。  
→ この状態になったら、「待て」をかける。
- ③ 立技で肩三角グリップ（を施した場合）は、「待て」をかける。
- ④ 肩三角グリップで投げようとした場合、「待て」を無視して投げた場合は、「反則負け」となる。

#### イ 寝姿勢の判断について

試合両者の両膝がついている場合、片方の試合者が腹ばいの場合、片方の試合者の両肘・両膝が畳についている場合は寝姿勢であると判断する。

※一度寝姿勢になった選手を立姿勢でいる相手が力づくで持ち上げ、両膝着きの状態に立たせてそこから投げてもスコアは認めないし、この場合、寝姿勢にいる選手は相手の帯から下を防御することができる。ただし、寝姿勢にあった選手が自ら立ち上がり、相手が直ちに攻撃をして投げた場合はスコアを認める。

### (5) 選手の呼び出しについて

→今回は1分間隔で3度呼び出して現れない場合は対戦相手の「不戦勝」

### (6) 試合結果について

審判員が試合場を降りた後でも、結果に誤りがあり、その原因が明らかに人為的ミス（タイムキーパーの記録違いである場合は、試合者を再度試合場にあげて勝者宣告のやり直し、もしくはGS（決勝戦のみ）からの試合再開ができることとする。

(7) その他、国際審判規定で審判をする上で特に注意する事項。

- ①試合終了後、勝者指示の際、一步前を出て無言で勝者に手をあげる。
- ②「不戦勝ち」「棄権勝ち」は、宣言・宣告をする。
- ③試合者は、帯の締め直し等、服装を直す場合は立ったまま行う。
- ④試合者が、負傷した場合、副審は座ったまま観察する。
- ⑤出血の場合、必ずテーピング等で止血する。同じ部位は3回目で相手の「棄権勝ち」となる。
- ⑥「指導」は、どちらかを選んで片方に「指導」を与える。安易に両方に与えない。
- ⑦主審は、試合開始の位置に戻らなくても、また試合者同士が、開始線に戻らなくても、双方が向き合って公平な場合であれば「始め」を掛けてよい。
- ⑧捨て身技で自ら倒れた時や返し技で同体に倒れた時は、最終的にどちらがコントロールしているかを見極めること。スコアを与える場合、開始線を指差さなくてはならない。
- ⑨立ち姿勢の時、「そのまま」はない。寝技の場合のみ「そのまま」がある。
- ⑩直接の「反則負け」になった場合は、その後の一連の試合に出場出来ないなのでその際は、審判長に届ける。除く、※「通称、ダイビング」・「ブリッジ」
- ⑪両袖をもって投げを施し、「反則負け」になった場合は、その後の一連の試合に出場することはできない。

(8) 選手の移動について

選手は移動に際して、マスクケース、靴を入れる袋を持って移動すること

## 国内における「少年大会特別規程」 (2024. 4. 1 改正)

国内における少年（中学生以下）の試合は、国際柔道連盟試合審判規程に則って行われるが、安全面を考慮し、次の条項を加えて行うものとする。

## 第 17 条 (抑え込み)

附則として次を加える

寝技の攻撃・防御において、脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断したときは「待て」とする。

## 第 18 条 禁止事項と罰則指導 (軽微な違反)

1. 立ち姿勢で相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること。  
ただし、技を施すため、瞬間的 (1, 2 秒程度) に握ることを認める。  
(注) 中学生は、試合者の程度に応じて、後ろ襟を握ることを認める。
2. 両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。
3. 関節技及び絞技を用いること。
4. 無理な巻き込み技を施すこと。
5. 相手の頭を抱えて大外刈、払腰などを施すこと。
6. 小学生以下が、裏投を施すこと。
7. 「逆背負投」 (通称) の様な技を施すこと。
8. 両袖を持って投技を施すこと。

## 反則負け (重大な違反)

1. 攻撃・防御において、故意に相手の関節を極めること。

## (附則)

## 指導 (軽微な違反)

1. [相手の後ろ襟、背部又は帯を握ること] 関係
  - ①「後ろ襟」とは、柔道衣を正しく着用したときの頸の後ろ側 (うなじあたり) の範囲をいう。試合者の一方が後ろ襟を握った後、その襟を引き下げて側頸部にずらした場合でも「後ろ襟」とみなす。
  - ②「背部を握る」の範囲は、目安として肩の中心線に手首がかかるような状態をいう。背部を握った後、柔道衣をたぐりよせて釣り手の一部の指が後ろ襟の内側を握る状態になっても背部とみなす。特例として「後ろ襟、又は背部を握った」状態で、通称ケンケン内股等 (内股に限らずケンケンとなる大内刈や大外刈等) をかけることは、[瞬間的 (1, 2 秒程度)] の事項を適用せず、また、その後、連絡した技や変化した技についても、技の効果が途切れるまで継続を認める。
2. [両膝を最初から同時に畳について背負投等を施すこと。] 関係  
両膝を最初から畳につくとは、膝の外側部、内側部も含む。同時はもちろん、ほとんど同時と見なされる場合も含む。技が崩れた結果である場合は反則としない。

3. 〔関節技及び絞技を用いること。〕 関係

①寝技の攻撃・防御において、脚を交差して相手を制しているだけの状態は、三角絞とはみなさない。抑え込もうと脚を交差して相手を制止した後、絞まっている状態あるいは脊椎及び脊髄に損傷を及ぼす動作と判断した場合は、受傷を防ぐために、早めに「待て」とする。また、通称「三角固」の体勢となった時点で、危険な状態ではないと判断しても、交差している脚を直ちに解かなければ「待て」とする。交差していた脚を直ちに解けば、寝技の攻撃・防御は継続となる。

① 故意ではなかったが、絞技および関節が極まった場合は、「待て」とする。

4. 〔無理な巻き込み技を施すこと。〕 関係

「無理な巻き込み」とは、軸足のバネを利かすことなく、体を利用して倒れ込むようにして巻き込んだ技をいう。技が崩れた結果である場合は反則としない。

5. 〔相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰などを施すこと。〕 関係

「相手の頸を抱えて施す大外刈、払腰等」とは、明らかに腕を相手の頸に巻きつけて施した場合のみをいう。

7. 〔「逆背負投」（通称）の様な技を施すこと。〕 関係

例えば一方の試合者が右組み、他方の試合者が左組みの体勢から、右組みの試合者が、正しく組んだ釣り手側の前襟を両手で握りながら、右足前回り捌き又は、左足後回り捌きで技を施し、相手を左方向に一回転させながら捻りを加えて、背中、又は頭から投げ落とす様な技をいう。但し、背負投を施して、相手が技を防御するために反対の肩越しに落ちた場合は含まない。

8. 〔両袖を持って投げ技を施すこと。〕 関係

相手の両袖を左右それぞれの手で持ったまま袖釣込腰、大外刈、外巻込等の技を施した場合をいう。但し、相手の片袖を持って、相手に自身の片袖を持たせたまま内股等の技を施した場合は含まない。

## 改廃

本規程の改廃は、審判委員会において協議し、理事会の承認を得て行う。

付則 この申し合わせは、平成 22 年 5 月 1 日から実施する。

この申し合わせは、平成 23 年 6 月 14 日から部分変更して施行する。

この申し合わせは、平成 27 年 3 月 31 日から改正し、平成 27 年 6 月 1 日から施行する。

この申し合わせは、平成 27 年 11 月 30 日から申し合わせを特別規定として改正し、施行する。

この特別規定は、平成 30 年 3 月 1 日から改正し、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

この特別規定は、令和 3 年 3 月 15 日から特別規程と改正、施行する。

この特別規定は、2022 年 1 月 24 日から改正し、2022 年 4 月 1 日から施行する。

この特別規定は、2023 年 12 月 8 日から改正し、2024 年 4 月 1 日から施行する。

## 試合場におけるコーチの振る舞いについて

財団法人全日本柔道連盟

**コーチ（本大会では監督をさす）の役割**

1. コーチは、選手への様々な状況における指示、戦術的なアドバイス、怪我の対応など、選手とのコミュニケーションを取ることを目的とする。
2. コーチは、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

**コーチの場所**

1. 原則として各試合場の正面と反対側、あるいは試合場の横側に、コーチ1名のみ入ることが許され、用意された椅子に着席しなければならない。
2. 伝統的にコーチを認めていない大会（全日本選手権大会など）においては、主催者の判断による。

**コーチの言動**

1. 試合が止まっている間（「待て」から「始め」の間）のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
2. 次の行為を禁止する。
  - (ア) 試合が続行している最中に指示を出すこと。また、試合中に立ち上がること。
  - (イ) 審判員の判定に対し、コメントや批判、或いは訂正を要求すること。
  - (ウ) 対戦相手、審判員、役員、一般客、および自分自身の選手を侮辱するよう行為
  - (エ) 広告看板や器具に触ったり、殴ったり、蹴ったりすること。
  - (オ) その他、柔道精神に反する行為
3. 原則として、コーチは審判員に準じた服装とし、ID カードを付けるものとする。

**罰則**

上記に違反した場合は、下記による処分を科すものとする。

1. 1回目は、審判員が合議の上、口頭による注意をする。
2. 1回目の注意で改善されない場合は、審判員が大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとにその試合が終了するまで試合場フロアの外へ退去させる。但し、試合はその後も続行するものとする。
3. 次の試合からは、またコーチ席に座ることができるが、その後も改善が見られない場合は、その大会期間を通して試合場フロアへの入場を禁止する場合もある。

## 脳振盪対応について

ジュニア（20 歳未満）以下の大会要項に下記条項を追加する  
選手および指導者は下記事項を遵守すること

1. 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
2. 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

## 資料④

全柔連発第 19-0967 号

2020 年 2 月 28 日

関係各位

公益財団法人全日本柔道連盟  
審判委員会委員長 大迫 明伸  
(公印省略)

### 新たに適用される罰則（指導・反則負け）の施行について

国際柔道連盟では、本年 1 月 11～12 日カタル・ドーハで開催されたレフリーセミナーにおいて、新たに適用される罰則として、「攻防に関係の無い行為で、相手の柔道衣を乱す行為」に対して「指導」を付与すること並びに「故意に相手の足を踏みつけて技を仕掛ける及び故意に相手の頭髪を掴んで技を仕掛ける行為」に対しては、柔道精神に反する行為として「反則負け」を付与することを決定いたしました。

本年に開催される 2020 年東京オリンピック柔道競技でもこの罰則が適用される為、日本国内でも早急に適用する必要があります。

別紙の全柔連主催大会では 4 月よりこの罰則を導入しますが、各主催団体におきましては、施行期間に猶予を設ける等の措置を講じながら、導入を検討して頂きますよう、お願いいたします。

### 記

#### 1 新たに適用される罰則「指導」の内容

従来は、「攻防に関係の無い行為で、自らの柔道衣（裾部分）を帯から出す行為（図 1-1,1-2）」を対象としていたが、今後は、「攻防に関係の無い行為で、意図的に相手の柔道衣（裾部分）を帯から出す行為（図 2-1,2-2,2-3）」も対象となり、「指導」が付与される。通常の

図1-1



図1-2



図2-1



図2-2



図2-3



攻防の中で、偶発的に相手の服装を乱すことは対象とならない。

なお、図3の行為については、国際柔道連盟が本年2月のグランドスラム・デュッセルドルフにおいて、追加承認したものとなる。

図(2-1,2-2,2-3)の様に、青が組み合っていない状態から、白の整えられた柔道衣から意図的に裾部分を引き出した場合に対象となる。

図 3-1

図 3-2

図 3-3



図(3-1,3-2,3-3)の様に、青が組んだ状態から、白の整えられた柔道衣から意図的に裾部分を引き出した場合に対象となる。

## 2 新たに適用される罰則「反則負け」の内容

「故意に相手の足を踏みつけて技を仕掛ける及び故意に相手の頭髪を掴んで技を仕掛ける行為」は、柔道精神に反する行為として「反則負け」が付与される。但し、1回目は偶発的に起きうる可能性もあるので「待て」として、ノースコア、ノーペナルティで試合を継続する。2回目が起これば、故意であると判断し「反則負け」を付与する。

図 4-1

図 4-2

図 4-3

図 4-4



図(4-1,4-2,4-3,4-4)の様に、白が故意に青の足を踏みつけてから、技を仕掛けた場合に対象となる。

【問い合わせ先】公益財団法人全日本柔道連盟 大会事業課

電話 03-3818-4392

メール [shinpan@judo.or.jp](mailto:shinpan@judo.or.jp)

以上

【別紙】新たに適用される罰則（指導・反則負け）の施行について 大会への適用

- ① 2020年4月1日より全柔連単独主催大会では原則として改正された国際柔道連盟試合審判規定を適用する

対象大会：全日本選抜体重別選手権大会  
全日本カデ体重別選手権大会  
全国小学生学年別大会  
全日本ジュニア体重別選手権大会  
マルちゃん杯全日本少年大会  
講道館杯全日本体重別選手権大会

- ② 実行委員会のある大会においては実行委員会の判断に委ねる

対象大会：皇后盃全日本女子選手権大会  
全日本選手権大会  
全国少年大会  
全日本少年少女武道錬成大会  
全国高等学校選手権大会  
近代柔道杯全国中学生大会

- ③ 共催大会においては①の方針を申し入れ、関係団体と協議の上、決定する

対象大会：インターハイ柔道競技会  
全国高等学校定時制通信制大会  
全国中学校大会  
国民体育大会柔道競技会

全柔連発第30-0800号

平成31年3月26日

関係各位

公益財団法人全日本柔道連盟  
審判委員会委員長 大迫明伸  
(公印省略)

柔道衣の乱れに対する新たな罰則（指導）の施行について

国際柔道連盟では2019年3月8～10日に開催された、グランプリマラケシュ大会（モロッコ）より柔道衣の乱れに対する罰則を新たに導入しました。

今年開催される世界選手権東京大会、2020年東京オリンピック柔道競技でもこの罰則が適用される為、日本国内でも早急に適用する必要があります。

別紙全柔連主催大会では4月よりこの罰則を導入しますが、各主催団体におきましては、施行期間に猶予を設ける等、導入時期を検討して頂きますよう、お願いいたします。

記

・新罰則（指導）の内容

試合中に柔道衣が乱れ、帯より外に上衣の裾（背部を含む）が出た場合、主審の「待て」から「始め」の間に、選手自ら素早く服装を直すこと。

主審が「待て」を掛けても、乱れた柔道衣を直そうとせず、放置し乱れたまま「始め」を待っている時に、主審より柔道衣を直すよう指示された場合、これを1回目とカウントし、2回目以降はその都度「指導」が与えられる。

合わせて帯も、本人が緩く結ぶことが原因で解け、自ら固く結び直さず主審から指示された場合もカウントの対象となる。

選手は「待て」から「始め」までの間に、自ら素早く服装を直し、帯を固く締めなければならない。

但し、積極的な試合展開で、例えば柔道衣の上衣がすっぽり脱げた場合に服装を直す指示を主審が行ってもカウントされない。

あくまでも、場外や寝技の停滞などで「待て」が掛かった場合、選手が柔道衣の乱れを放置し、主審から指示された場合にカウントされる。

「待て」の後、選手が自ら柔道衣を直そうとする場合、「髪の結直し」と同じく少し猶予を与える。

帯を解いて服装を直す場合は、従来通り主審の指示・許可がなければならない。

※背部の裾の長さが臀部を覆っていない、体幹部が細く胸元の合わせ目が浅い等は、柔道衣の乱れやすさの一因である。上記罰則を導入するにあたり、柔道衣コントロールをより厳密に行う様に徹底して頂きたい。

【問い合わせ先】

公益財団法人全日本柔道連盟  
大会事業課

電話 03-3818-4392 メール shinpan@judo.or.jp

以上

**【別紙】柔道衣の乱れに対する新たな罰則（指導）の施行について大会への適用**

①平成31年4月1日より全柔連単独主催大会では原則として改正された国際柔道連盟試合審判規定を適用する

対象大会：全日本選抜体重別選手権大会  
全日本カデ体重別選手権大会  
全国小学生学年別大会  
全日本ジュニア体重別選手権大会  
マルちゃん杯全日本少年大会  
講道館杯全日本体重別選手権大会

②実行委員会のある大会においては実行委員会の判断に委ねる

対象大会：皇后盃全日本女子選手権大会  
全日本選手権大会  
全国少年大会  
全日本少年少女武道錬成大会  
全国高等学校選手権大会  
近代柔道杯全国中学生大会

③共催大会においては①の方針を申し入れ、関係団体と協議の上、決定する

対象大会：インターハイ柔道競技会  
全国高等学校定時制通信制大会  
全国中学校大会  
国民体育大会柔道競技会

IJF Refereeing Rules update Olbia 2021  
Scenario 8 updated LFD on 30 Dec 2021

Decision 1: Scoring for actions that, without stopping, are a continuation of techniques. If there is a stop in the action, there is no score.

技が中断せず、継続した場合はスコアである 技が中断した場合はノースコア

Decision 2: Waza-ari criteria comprises landing on the whole side of the body at 90 degrees or more to the rear, or on one shoulder and upper back. A score will be given for a whole side of the body landing even when the elbow is out. Hip and shoulder position must be considered.

技有の基準1 「体側全体」が90度以上背中側、もしくは片方の「肩」と「背中上部」が接地した場合技有とする 体側全体が（90度以上背中側に傾いて接地した場合）肘が外側に出ている場合でもスコアを与える 「体側の全体」は「腰」と「肩」のポジションをみる

Decision 3: Waza-ari criteria comprises landing on the whole side of the body at 90 degrees or more to the rear, or on one shoulder and upper back. A score will be given for a whole side body landing even when the elbow is out.

技有の基準2

体側全体が90度以上背中側、もしくは片方の「肩」及び「背中上部」が接地した場合技有とする

体側全体が（90度以上背中側に傾いて接地した場合）肘が外側に出ている場合でもスコアを与える

Decision 4: Landing simultaneously on 2 elbows or hands, towards the back, is waza-ari for tori and shido for uke.

技有の基準3 「受」が同時に両手、両肘をついた場合、「取」に技有を与えると共に「受」にも指導を与える

Decision 5: No score for counter techniques where the initial attack is rolled to the back, towards the counterattacking or defending judoka.

IJF通称「Rollover counter technique(めくり)」はノースコアである

Decision 6: No score and shido for reverse seoi-nage.

IJF通称「Reverse Seoi Nage(逆背負投)」はノースコア、指導である

Decision 7: Gripping under the belt in the end phase of a throwing technique is allowed if the opponent is already in ne-waza. If the throwing technique is interrupted, gripping under the belt is a ne-waza action.

技の最後の動作で帯より下に触れることを認める（投げた場合はスコアとなる） 技が中断した場合に帯より下を掴んだ場合は寝技としてみなす（スコアやペナルティは与えない）

Decision 8: Collar and lapel grips are allowed if not negative.

ポジティブな展開（ブロッキングをしていない場合）であれば「奥襟」と「襟」を認める

Decision 9: Belt grip, one side grip, cross grip, pistol grip and pocket grip are not traditional grips. If taken, time will be allowed for the preparation of an attack.

帯、片側、クロスグリップ、ピストル・ポケットグリップはすべて標準的な組方ではない

標準的な組方ではない組手の場合、技の準備を行う時間が与えられる帯、片側、クロスグリップ、ピストル・ポケットグリップはすべて標準的な組方ではない

標準的な組方ではない組手の場合、技の準備を行う時間が与えられる

Decision 10: Breaking the grips with one or two hands and immediately taking grips is allowed. Breaking grips with one or two hands and not taking a grip immediately is shido.

（相手の）組手を片手、もしくは両手で切り、直ちに組手を持ち直してポジティブな展開であれば、「指導」ではない（相手の）組手を片手、もしくは両手で切り、直ちに組手を持ち直さない場合は指導を与える

Decision 11: Retying and arranging judogi and (the) hair is allowed once per judoka per contest. Further occasions are penalised with shido.

「柔道衣の直し」、「髪の直し」は1試合にそれぞれ一回認められる。2回目は「指導」である

Decision 12: Techniques using head diving are dangerous and will be penalised with hansoku-make.

ヘッドダイブは危険な為、「反則負け」になる

2023年7月24日

関係各位

公益財団法人全日本柔道連盟審判委員会委員長 大迫 明伸  
大会事業委員会委員長 岡泉 茂  
(公印省略)

本連盟主催大会における柔道衣コントロール改正の適用について (通知)

拝啓 猛暑の候、時下ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本連盟の諸事業に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2022年1月に国際柔道連盟により柔道衣コントロール改正の公表があり、本年5月に開催された世界柔道選手権大会から新しい柔道衣コントロールが実施されております。これに伴う本連盟主催大会への適用については、下記となりますので、ご確認ください。

敬具

記

2023年11月4日～5日に開催する「2023年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会」から適用する。ただし、2024年4月1日までは移行期間とし、現行柔道衣コントロールでの出場を認める。 (適用大会)

- ① 2023年11月4日より本連盟単独主催大会では原則として改正された柔道衣コントロールを適用する  
対象大会：講道館杯全日本体重別選手権大会  
全日本選抜体重別選手権大会  
全日本ジュニア体重別選手権大会全日本シニア体重別選手権大会
- ② 実行委員会のある大会においては実行委員会の判断に委ねる  
対象大会：皇后盃全日本女子選手権大会  
全日本選手権大会  
全国高等学校選手権大会
- ④ 共催大会においては①の方針を申し入れ、関係団体と協議の上、決定する  
対象大会：インターハイ柔道競技会  
全国高等学校定時制通信制大会  
全国中学校大会  
国民体育大会柔道競技会

【問い合わせ先】公益財団法人全日本柔道連盟 大会事業課 大塚・渡辺・関口・城地  
電話 03-3818-4392 メール [shinpan@judo.or.jp](mailto:shinpan@judo.or.jp)

以上

# 全日本柔道連盟主催大会における柔道衣コントロールの運用について

2023年7月24日 全日  
本柔道連盟審判委員会・大会事業委員会

本連盟主催大会における柔道衣コントロールについては、以下の通り実施する。  
規程に満たない場合、試合する権利がなくなり、試合がまだ始まっていなかった場合には「不戦勝ち」または、試合がすでに始まっていた場合には「棄権勝ち」が相手に与えられる。

- 1 ID カードとゼッケン、柔道衣の色(紐)、帯の色が合っているかを確認。  
※帯は黒帯のみ(無段者の白帯を除く)とする。
- 2 「柔道衣の氏名等の表示」に適合しているか、指定の広告・ゼッケンが正しく縫い付けられているか、破れ・血痕がないか、おおむね乾燥し不快なにおいがしないかを確認。
- 3 認証ラベルの確認。

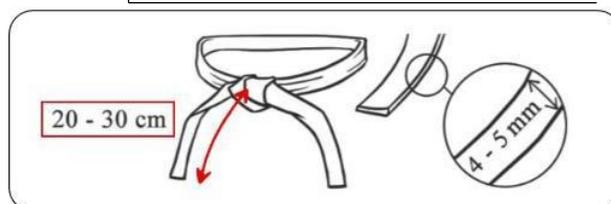
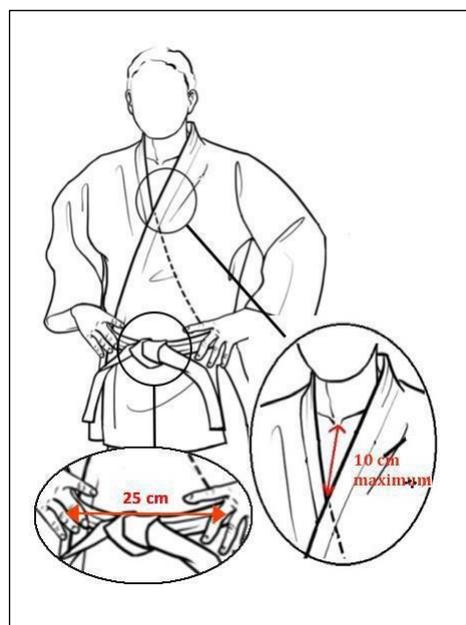
上衣・下穿き 「IJF ロゴ(赤)」又は「JU0000・JUB000 の赤文字ラベル」のみ使用可。

帯 「IJF ロゴ(赤・青)」又は「JU0000 の赤・黒のラベル」が使用可。

※認証ラベルの剥がれた柔道衣の着用は認めない。  
※原則として、上衣・下穿きのメーカーは同一であること。

## 4 上衣の大きさ・帯の長さを確認。

- ① 測定器を用いて、胸骨の上部頂点から襟の交差部までの垂直直線距離が 10cm 以下であることを確認。
- ② 帯が腰骨の位置で正しくきつく締められた状態であることを確認。その後、測定器を用いて、上衣を前で重ねた際に 2 つの下襟の距離が水平に 25 cm 以上であることを確認。
- ③ 測定器を用いて、帯が中央の結び目から端まで 20~30 cm に収まっているかを確認。
- ④ 袖の長さが腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、手首の骨(尺骨の頭)を含めて腕全体が覆われているかを確認。覆われていない場合は、自分自身で柔道衣を伸ばし、一度だけ再測定ができる。
- ⑤ 腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、測定器全体がスムーズに袖の中に滑り入るかを確認。



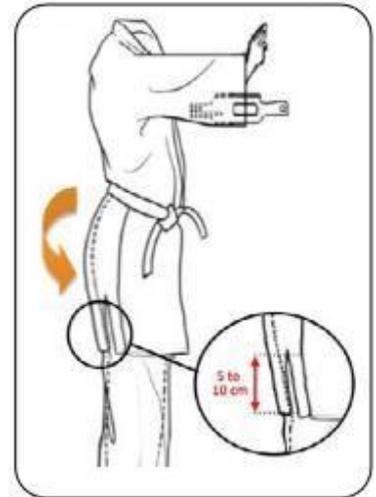
- ⑥ 上衣の前後が同等の長さでお尻を完璧に覆っており、各階級の規程に合っているかを目視にて確認。

男女 73 kg級以下(48・52・57・63・70・60・66・73 kg)

背中から 20 cm以上であることを確認。

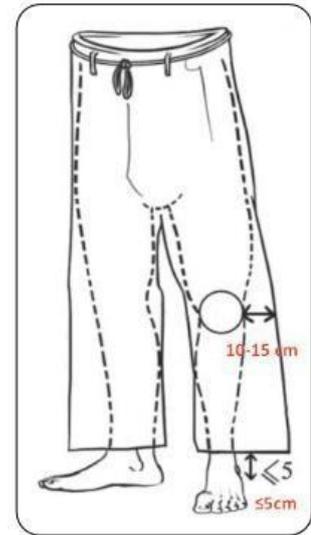
男女 73 kg級以上(78・78・81・90・100・100kg)

背中から 25 cm以上であることを確認。



## 5 下穿きの大きさを確認。

裾口からくるぶしの外側(足首)までの距離が 5cm またはそれ 以下であるか、幅は膝の位置で 10~15cm に収まっているかを目視で確認。満たないと判断した場合は、測定器を用いて確認する。



## 6 女子選手のT シャツについては、次の通りとする。

- ① 色は白(透けない)、半そで、丸首とする。
- ② 製造業者マークは、最大 30cm のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。
- ③ 所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大 10cm とする。
- ④ いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

## 7 その他

- ① 規程に満たない場合、短時間に着替えるよう命じなければならない。それでも満たない場合は出場を認めない。原則として、主催者は予備の柔道衣を準備しない。
- ② 手足の爪は短く切っており、試合者の個人的衛生状態がよく保たれていること。
- ③ 長い髪は試合相手の迷惑にならないよう束ねてあること。
- ④ マウスピースの着装については、事前に審判員(試合場係員)へ申し出ることによって装着することができる。ただし、白もしくは透明なものに限る。
- ⑤ 下穿きの下に着けるスパッツ等の長さは、膝よりも短いことを原則とする。
- ⑥ 入れ墨については、事前に審判員(試合場係員)へ申し出たうえで、シャツやテープ等で隠すこととする。
- ⑦ 監督(指導者)の服装については、原則として審判員に準じたものとする。

令和 6 年 2 月吉日

柔道競技部ブロック長の皆様  
都道府県柔道競技部専門委員長の皆様

(公財) 日本中学校体育連盟柔道競技部  
部長 神谷 兼正  
(公印省略)

## 柔道衣コントロール改正の移行期間について(通知)

拝啓 向春の候 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本柔道競技部の活動に際しましてご支援ご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、昨年(公財)全日本柔道連盟より通知がありました「柔道衣コントロール改正の適用について(通知)」(全柔連発第 23-0253 号・7 月 24 日付け)の対応にあたり、中学校における大会については、(公財)全日本柔道連盟 審判委員会並びに大会事業委員会と協議した結果、来年度からは下記の通り対応させていただきますので各都道府県において周知徹底の程よろしくお願いいたします。

敬具

### 記

1. 新 3 年生・新 2 年生に関しては、現行の柔道衣での大会出場を認める。  
ただし、今後新規に柔道衣を購入する際は新規定の柔道衣を購入することを勧める。
2. 新 1 年生に関しては、新規定の柔道衣を購入することとする。
3. 2 年間の移行期間を経て令和 8 年度には全ての中学生が新規定の柔道衣であるようにする。

以上

#### 【問い合わせ先】

愛知真和学園 大成中学校

〒491-0814 愛知県一宮市千秋町小山字大福田 1878 の 2

TEL(0586)81-1118

## ケガへの対応マニュアル

※以下の資料は第1競技場の見える場所に掲示します。

### 1 頭部外傷時対応マニュアル

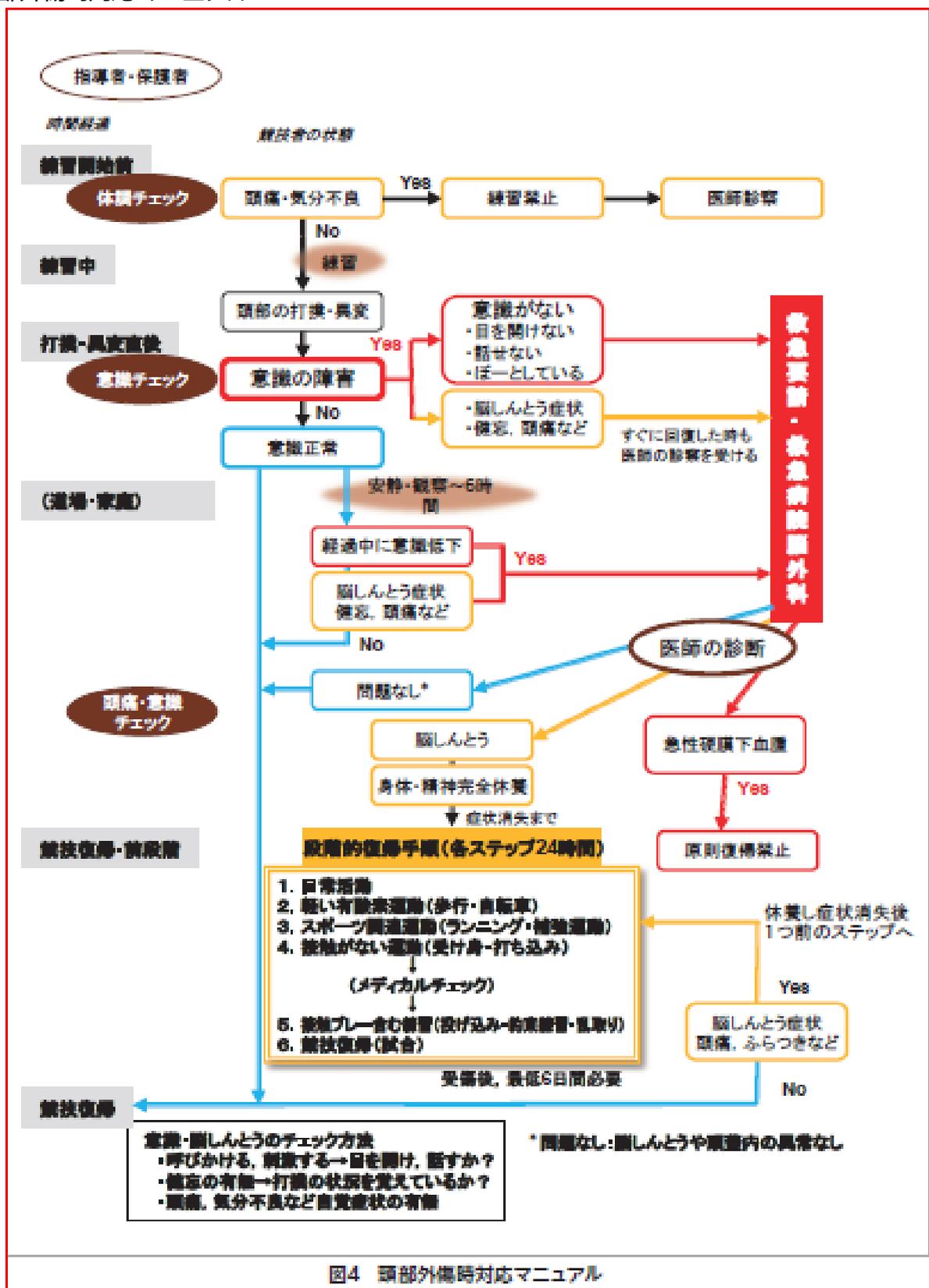
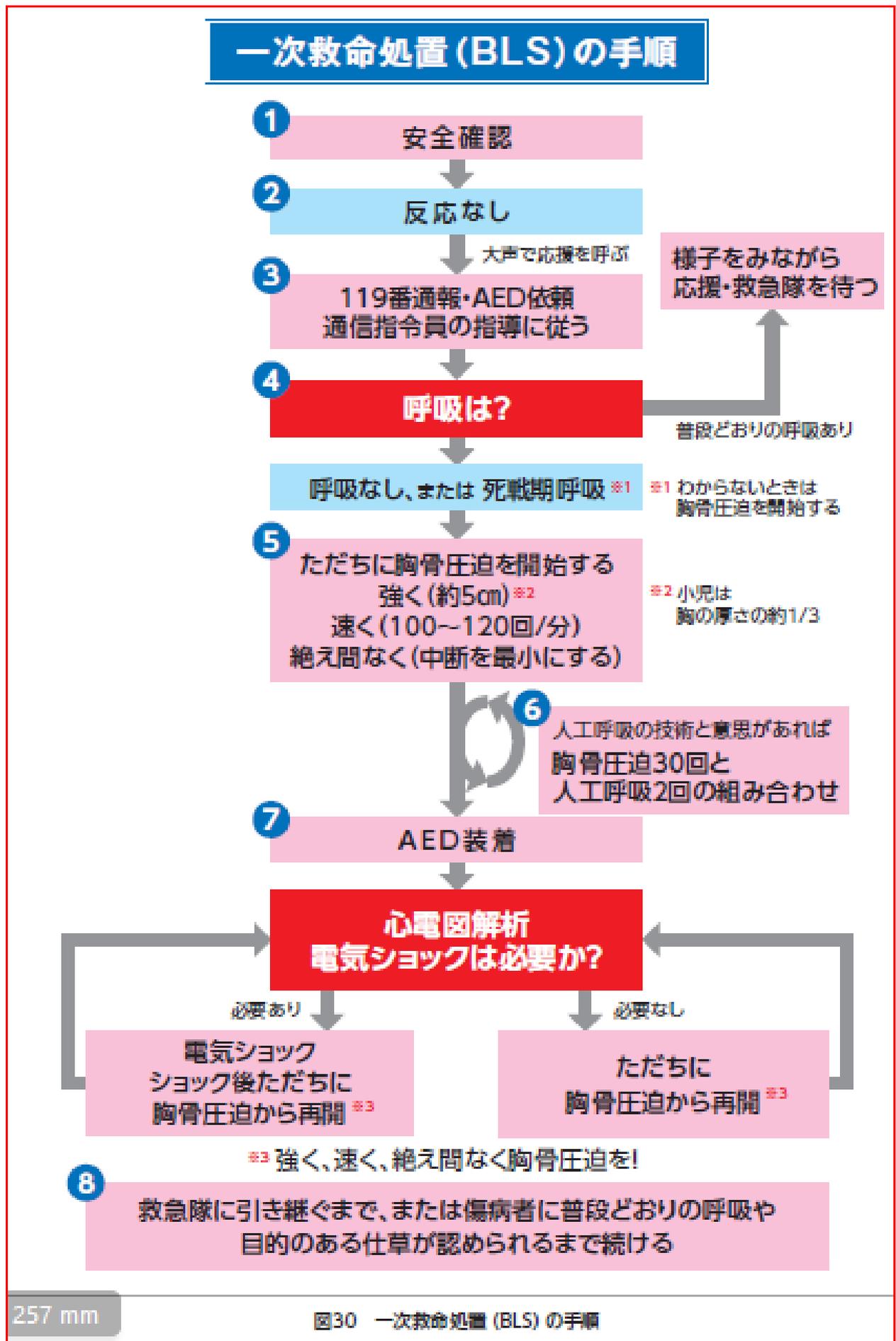


図4 頭部外傷時対応マニュアル

## 2 一時救命処置 (BLS) の方法



## 脳震盪を疑ったときのツール (CRT 5<sup>◎</sup>)

こどもから大人まで 脳震盪を見逃さないために



### 脳震盪を疑ったら、速やかにプレーを中止する

頭を打つと、ときに命にかかわるような重い脳の損傷を負うことがあります。このツールは、脳震盪を疑うきっかけになる症状や所見についてご案内するものですが、これだけで脳震盪を正しく診断できるわけではありません。

### ステップ1：警告—救急車を呼びましょう

以下の症状のひとつでもみられる場合には、選手を速やかに、安全に注意しながら場外に出します。その場に医師や専門家がいない際には、ためらわずに救急車を呼びます。

- <むかぬい>/押さえると痛む
- 一瞬でも意識を失った
- 右の力がぶつて見える
- 反応が悪くなる
- 手足に力が入らない/しびれる
- 嘔吐する
- 強い頭痛/痛みが増してくる
- 落ち着かず、イライラして攻撃的
- 発作やけいけんがある

### 注意

- 救急の原則 (安全確保→意識の確認→気道/呼吸/循環の確保) に従う。
- 脊髄損傷の有無を早期に評価することはとても重要。
- 応急処置の訓練経験がない人は、(気道確保の際を除き) 選手を動かさない。
- 応急処置の訓練経験がない人は、ヘルメットなどの防具を外さない。

ステップ1の症状がなければ、次のステップに進みます。

### ステップ2：外から見てもわかる症状

以下の様子が見られたら、脳震盪の可能性あります。

- フォールドや床の上で倒れて動かない
- 素早く立ち上がれない/動きが遅い
- 異常な動きをしている/混乱している/質問に正しく答えられない
- ボーとしてうつろな様子である
- バランスが保てない/うまく歩けない
- 動きがぎこちない/よるめく/動作が鈍い/重い
- 顔にもけがをしている

第6回国際スポーツ脳震盪会議 (ベルリン) 提議のCRT5の日本語版 (長野脳神経外療, 2019)

図8 脳しんとうを疑うツール(CRT5)

### ステップ3：自分で気がつく症状

- 頭が痛い
- 頭がしめつけられている感じ
- ふらつく
- 嘔気・嘔吐
- 眠気が強い
- めまいがする
- ほやけて見える
- 光に過敏
- 音に過敏
- ひどく疲れる/やる気が出ない
- 「何かおかしい」
- いつよりも感情的
- いつもよりイライラする
- 理由なく悲しい
- 心配/不安
- 首が痛い
- 集中できない
- 覚えられない/思い出せない
- 動きや考えが遅くなった感じがする
- 「霧の中にいる」ように感じる

### ステップ4：記憶の確認 (13歳以上の選手が対象です)

以下の質問 (種目により修正が可能です) に全て正しく答えられないときは、脳震盪を疑います。

- 今日はこの競技場/会場にいますか?
- 今は試合の前半ですか、後半ですか?
- 先週/前回の対戦相手は?
- 前回の試合は勝ちましたか?
- この試合で最後に点を入れたのは誰ですか?

### 脳震盪が疑われた場合には...

- 少なくとも最初の1~2時間は、ひとりきりにしてはいけません。
- 飲酒は禁止です。
- 処方薬も市販薬も、原則として飲んではいけません。
- ひどりで家に帰してはいけません。責任ある大人が付き添います。
- 医師からの許可があるまで、バイクや自動車を運転してはいけません。

このツールはこのままの形であれば、自由に複写して個人やチーム、団体、組織に配布していただいてかまいません。ただし、改訂や新たな電子化には発行元の許可が必要で、いかなる内容変更も所商標化も販売も禁止です。

脳震盪が疑われた場合には、競技や練習をただちに中止します。たとえすぐに症状が消失したとしても、医師や専門家の適切な評価を受けるまで、プレーに復帰してはいけません。

◎ Concussion in Sport Group 2017

(日本語版作成：日本脳神経外傷学会 スポーツ脳神経外傷検討委員会)

全柔連発第 23-0148 号  
2023 年 6 月 1 日

関係各位

公益財団法人全日本柔道連盟  
審判委員会委員長 大迫明伸  
( 公 印 省 略 )

国際柔道連盟試合審判規程の解釈変更に伴う国内大会への適用について

2023 年 3 月 25 日に国際柔道連盟より審判規程の解釈変更が発表され、先般開催された 2023 年カタール・ドーハ世界柔道選手権大会でも適用されたことにより、日本国内でも早急に適用する必要があります。

本連盟主催大会では、2023 年 6 月 1 日よりこれを導入しますが、各主催団体におきましては、施行期間に猶予を設ける等、導入時期を検討して頂きますよう、お願いいたします。

記

## 1 変更された主な内容

### ① 技ありの判断基準について

#### ・ 変更前

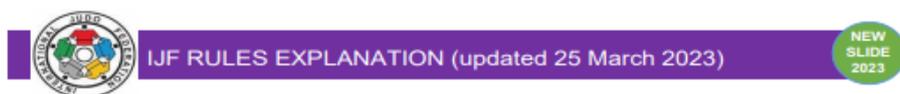
技ありの基準は、**体側全体が 90 度以上背中側**、もしくは片方の肩と背中上部が接地した場合とする。

**体側全体は、腰と肩のポジションをみること。**

#### ・ 変更後

技ありの基準は、**肩の軸に対して体側上部が 90 度かそれ以上後ろ側に倒れている場合**、もしくは片方の肩と背部上部が接地した場合とする。

**体側上部は、肩のポジションのみをみること。**(下記の国際柔道連盟資料参照)



2023年3月13日決定: 技ありの基準は、肩の軸に対して体側上部が90度かそれ以上後ろ側に倒れている場合、もしくは片方の肩と背部上部が接地した場合

